

記者発表(資料配付)				
月/日 (曜)	担当課	電話	発表者 (担当)	その他配布先
6/15 (木) 15:00	西宮土木事務所 道路第1課	0798-39-6124	西宮土木事務所長 田中 修平 (道路第1課長 西川 倫広)	兵庫県県政記者クラブ 神戸民間放送記者クラブ

## 『阪神電鉄本線鳴尾駅付近連続立体交差事業』が 第35回全国街路事業コンクールでグランプリを受賞！

地域経済の発展と住民福祉の向上に資する優れた街路事業を表彰する、第35回全国街路事業コンクールで、グランプリに当たる国土交通大臣賞に、西宮市の阪神電鉄本線鳴尾・武庫川女子大前駅付近で実施した、『阪神電鉄本線鳴尾駅付近連続立体交差事業』が選ばれましたのでお知らせします。

密集市街地である大都市の鉄道連続高架化、都市計画道路や側道の整備により、都市の安全性、利便性、円滑性が格段に向上しており、特に地域と連携した事業として画期的な試みがなされている点が高く評価されました。

高架下空間には、近隣の大学と連携し、日本初となる本格的な大学施設を取り入れたほか、地域及び地元住民、利用者に配慮した新たなまちづくりが試みられ、連続立体交差事業が市街地を分断することなく、地域になじむヒューマンスケールのデザインとなっており、新たな都市の拠点づくりに大きく貢献する優れた事業であると評されました。

同コンクールは、都道府県・政令指定都市、区市町村を含め969団体で組織する全国街路事業促進協議会が主催し、国土交通省が後援しています。なお、兵庫県が同賞を受賞するのは11年ぶり4回目です。

### 《受賞事業》

受賞：国土交通大臣賞（グランプリ）

事業名：阪神電鉄本線鳴尾駅付近連続立体交差事業

受賞者：兵庫県阪神南県民センター西宮土木事務所

事業概要：

内容：阪神電鉄本線鳴尾・武庫川女子大前駅付近の約1.9km区間の鉄道高架化による6箇所の踏切除却及び周辺道路の整備

期間：平成12年度～平成30年度

事業費：約297億円

## 《受賞事業の写真》



写真1 駅前広場



写真2 鳴尾・武庫川女子大前駅



写真3 関連側道



写真4 高架状況

## 《過去の国土交通大臣賞（グランプリ）受賞事業》

### (1) 第24回全国街路事業コンクール（平成24年度）

事業名：山手幹線街路整備事業

受賞者：兵庫県、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市

### (2) 第18回全国街路事業コンクール（平成18年度）

事業名：都市計画道路尼崎港川西線外3線街路事業

受賞者：兵庫県阪神南県民局・阪神北県民局

### (3) 第8回全国街路事業コンクール（平成8年度）

事業名：山陽電鉄本線連続立体交差事業

都市計画道路駅前線（駅前広場）整備事業

受賞者：兵庫県土木部、明石市都市計画部

# 国土交通大臣賞



## 阪神電鉄本線鳴尾駅付近 連続立体交差事業

兵庫県阪神南県民センター  
西宮土木事務所

### 事業概要

本事業は、阪神電鉄本線鳴尾・武庫川女子大前駅付近において、延長約1.9km区間の鉄道高架化による6箇所の踏切除却及び周辺道路の整備を行ったものである。本事業により、平面交差で阻害されていた地域の安全で円滑な交通を確保するとともに、「地域と共生するまちづくり」として多くの人々が集まる新たな拠点づくりの推進に大きな役割を果たしている。

### 表彰理由

密集市街地である大都市の鉄道連続高架化、都市計画道路や側道の整備により、都市の安全性、利便性、円滑性が格段に向上しており、特に地域と連携した事業として画期的な試みがなされている点が高く評価された。高架下空間には、近隣の大学と連携し、日本初となる本格的な大学施設を取り入れたほか、健康維持・増進ゾーンの整備などを通じ、地域及び地元住民、利用者に配慮した新たなまちづくりが試みられている。これにより連続立体交差事業が市街地を分断することなく、地域になじむヒューマンスケールのデザインとなっており、新たな都市の拠点づくりに大きく貢献する優れた事業である。

事業延長：約1.9km  
事業費：約297億円  
事業期間：平成12年度～平成30年度

